

第二次 大型店の地域貢献等に関する報告書

地域貢献活動の実施状況、ガイドラインの運用に関する意見とりまとめ結果

平成21年10月

熊本県大型店の地域貢献等に関する外部評価委員会

- 目 次 -

1	はじめに	・・・ 1 頁
2	平成 19 年度の活動と報告	・・・ 3 頁
3	平成 20・21 年度の付託案件と活動	・・・ 3 頁
4	「大型店の立地に関するガイドライン」の改正概要	・・・ 4 頁
5	付託案件に関する外部評価委員会の意見	・・・ 5 頁
	< 付託案件 1 >	
	特定大型店による地域貢献の実績の評価について	・・・ 5 頁
	(1) 今回の評価方法	・・・ 5 頁
	(2) 対象店舗の分類及び選定	・・・ 5 頁
	(3) 確認されたモデル的な取組み	・・・ 7 頁
	(4) 業態ごとの評価	・・・ 13 頁
	(5) 総合評価	・・・ 14 頁
	< 付託案件 2 >	
	大型店の立地に関するガイドラインの運用について	・・・ 15 頁
	[参 考] 特定大型店一覧表 (68 店舗)	・・・ 16 頁

1 はじめに

小売業は地域密着型産業であるが、この小売業を営む大型店の立地により、地域社会は大きな影響を受けることになった。このような状況のなか、大型店も地域社会の一員となり豊かな地域コミュニティを構築していくことが必要との考えから、熊本県では全国初の試みとして、大型店に主体的な地域貢献を求めるとともに、この地域貢献策が地域の実状に即したものとなるように「大型店の立地に関するガイドライン(以下「ガイドライン」という。)」を平成17年12月に策定した。さらに本年4月には、これまでの本委員会の意見等を踏まえて、より多くの大型店に取組みを促すとともに、より地域の実情を反映させた地域貢献策となるようにガイドラインを改正した。

本委員会は、平成19年10月に熊本県商工観光労働部長の諮問機関として設置され、大型店の地域貢献活動について、どのような検証・評価をし、県民に分かりやすく説明すべきか、併せて、ガイドラインの運用の改善点などの検討を行った。

平成20年3月には、特定大型店21店舗から提出された地域貢献実績報告書などを基に特定大型店全体の取組みを評価し、その結果を第一次の報告書としてとりまとめたところである。

そして今回、第二次の評価意見を述べるに当たり、さらに深く取組み状況を把握するため、委員による店舗訪問を実施し、地域貢献の責任者との意見交換を行うことで、当該訪問店舗のさらなる地域貢献の推進を図り、大型店全体の地域貢献活動の促進にも資することとなるよう、意見交換の結果を評価意見としてとりまとめ、この第二次報告書として提出するものである。

ガイドライン自体が法的拘束力を持つものではないが、大型店の業態や地域の状況も異なるなかで、地域住民のニーズを十分踏まえた大型店の地域貢献を推進するためには、大型店と地域の双方がガイドラインの趣旨を理解し、お互いのコミュニケーションを図っていくことが必要不可欠である。

このガイドラインを出発点として、大型店がさらに積極的に地域との協力・連携を図ることを期待する。また、地域、特に市町村・商工団体からも、大型店が地域コミュニティの一員との認識を持って、大型店との連携・協力体制の構築に向けた働きかけをしていくことも重要である。

本委員会は本年10月をもって活動を終えることになるが、県においては、第一次及び第二次の報告書に基づき、ガイドラインの円滑な運用を行うとともに、引き続き大型店の地域貢献の状況の把握と、大型店と地域のコミュニケーションを醸成するための支援を行い、大型店の地域貢献活動をさらに促進していかれるよう要望する。

最後に、本委員会との意見交換に御協力いただいた特定大型店に感謝を申し上げるとともに、今後もさらなる地域貢献に取り組んでいただき、豊かな地域コミュニティを構築されるよう切に願います。

平成21年10月21日

熊本県大型店の地域貢献等に関する外部評価委員会

会長 宇野史郎

委員名簿（50音順）

井川	昱信	熊本県商工会連合会	専務理事
岩下	直昭	熊本県商工会議所連合会	専務理事
宇野	史郎	熊本学園大学	商学部 教授
斉藤	信子	熊本消費者協会	八代支部代表
坂口	真理	熊本消費者協会	副会長
高濱	頼光	熊本県農業協同組合中央会	営農生活センター所長
瀧下	チズノ	熊本県民生委員・児童委員協議会	副会長
中間	宏満	八代市商工観光部	部長
西	英子	熊本県立大学	環境共生学部 准教授
原田	博徳	嘉島町企画情報課	課長

2 平成19年度の活動と報告

特定大型店の21店舗から提出のあった「平成18年度の地域貢献実績報告書及び立地市町村・商工団体へのアンケート調査結果」等により、地域貢献実施状況の評価及び大型店の立地に関するガイドラインの内容・運用状況に対する意見を、報告書としてとりまとめ県に提出した。

(委員会活動)

平成19年10月25日	第1回外部評価委員会
平成19年11月29日	第2回外部評価委員会
平成20年 2月22日～	<個別意見集約>
平成20年 3月14日	第3回外部評価委員会、報告書提出

3 平成20・21年度の付託案件と活動

(付託された案件)

- 1 特定大型店による地域貢献の実績の評価について
- 2 大型店の立地に関するガイドラインの運用について

(委員会活動)

<平成20年度>

平成20年10月31日	第4回外部評価委員会
平成20年12月9日	特定大型店との意見交換(ヒアリング)(第1回) ・ イオンモール熊本クリア(嘉島町) ・ ゆめタウン光の森(菊陽町)
平成20年12月17日	特定大型店との意見交換(ヒアリング)(第2回) ・ 鶴屋百貨店(熊本市) ・ D I Yホ-ムセンターハンズマン菊陽店(菊陽町)
平成21年 2月26日	第5回外部評価委員会

<平成21年度>

平成21年 9月15日	特定大型店との意見交換(ヒアリング)(第3回) ・ くまもと阪神(熊本市) ・ ハイパーモールメルクス山鹿(山鹿市)
平成21年 9月16日	特定大型店との意見交換(ヒアリング)(第4回) ・ サンリブシティくまなん(熊本市) ・ ホームセンターサンコー本山店(熊本市)
平成21年10月13日	第6回外部評価委員会
平成21年10月21日	第7回外部評価委員会、最終報告書提出

4 「大型店の立地に関するガイドライン」の改正概要

当初策定日 平成17年12月26日

改正日 平成21年4月1日

改正の趣旨

ガイドラインの策定後、まちづくり三法の改正という大きな動きがあり、また、平成19年に県に設置した「大型店の地域貢献等に関する外部評価委員会」からのガイドラインの内容等に関する意見を受け、多くの大型店による地域貢献をさらに促進し、より地域の実情を反映した地域貢献策となるよう改正を行った。

改正の概要

- (1) 基準面積の引き下げ（変更）
一定規模以上の大型店（特定大型店）の店舗面積を1万㎡以上から5千㎡以上に引き下げた。
- (2) 大型店に求めること（追加）
立地市町村・商工団体への出店情報の早期提供や求めがあった取組みへの協力を追加した。
- (3) 市町村に求めること（追加）
地域のまちづくりの中心的役割を担っている市町村が、大型店の地域貢献活動を促進し豊かな地域コミュニティの実現に努めることを追加した。
- (4) 商工団体に求めること（追加）
地域経済団体として商工業者の発展を推進することを使命とする商工会議所、商工会等の商工団体が、ガイドラインの目的が達成されるよう市町村と連携・協力しながら大型店との情報交換や連携に努めることを追加した。

5 付託案件に関する外部評価委員会の意見

《付託案件1》 特定大型店による地域貢献の実績の評価について

(1) 今回の評価方法

前回（平成19年度）は、特定大型店21店舗から提出された平成18年度の地域貢献実績報告書及び立地市町村・商工団体へのアンケート調査結果等を基に総合的な意見を述べるとともに、他の店舗のモデルとなるような優れた取組みについて紹介することで評価意見とした。

平成20年度の評価に当たり、前回と同様に前年度の地域貢献実績報告書を基に評価を行おうとすれば、実績報告書の内容に大きな違いがないことから同様な評価意見の繰り返しとなることが予想された。

これを踏まえて、第4回委員会で今回の評価方法を議論した結果、委員による店舗訪問を実施し、地域貢献の責任者から地域貢献の実状を聞くとともに意見交換をすることで、当該訪問店舗のさらなる地域貢献の推進を図り、大型店全体の地域貢献活動の促進に資することとなるよう、店舗訪問の結果を評価意見としてとりまとめることとした。

第5回委員会において、引き続き平成21年度の店舗訪問実施を決め、最終的に計8店舗の訪問結果を基に今回の評価とすることにした。

なお、対象店舗の選定については、業態・地域バランスなども考慮し、各委員が分担して意見交換（ヒアリング）を実施することとした。

(2) 対象店舗の分類及び選定

店舗の業態を、大きく「百貨店」、「ショッピングセンター」、「ホームセンター」の3つに分類し、地域バランスも考慮して、対象店舗を下記の8店舗に選定した。

【対象店舗】

[百貨店]

鶴屋百貨店（熊本市）

くまもと阪神（熊本市）

[ショッピングセンター]

イオンモール熊本クリア（嘉島町）

ゆめタウン光の森（菊陽町）

サンリブシティくまなん（熊本市）

ハイパーモールメルクス山鹿（山鹿市）

[ホームセンター]

D I Yホームセンターハンズマン菊陽店（菊陽町）

ホームセンターサンコー本店（熊本市）

【実施状況】

第1回	実施日	平成20年12月9日
	実施店舗	イオンモール熊本クリア（嘉島町） ゆめタウン光の森（菊陽町）
	参加委員	宇野委員、西委員、瀧下委員、井川委員、 岩下委員、高濱委員
第2回	実施日	平成20年12月17日
	実施店舗	鶴屋百貨店（熊本市） D I Yホームセンターハンズマン菊陽店（菊陽町）
	参加委員	坂口委員、齊藤委員、中間委員
第3回	実施日	平成21年9月15日
	実施店舗	くまもと阪神（熊本市） ハイパーモールメルクス山鹿（山鹿市）
	参加委員	宇野委員、中間委員、原田委員
第4回	実施日	平成21年9月16日
	実施店舗	サンリブシティくまなん（熊本市） ホームセンターサンコー本店（熊本市）
	参加委員	齊藤委員、瀧下委員、高濱委員

(3) 確認されたモデル的な取組み

今後、大型店による地域貢献がさらに推進されていくために、他の店舗においても参考になるとと思われるモデル的な取組み事例を紹介する。

【百貨店】(2店舗)

鶴屋百貨店(熊本市)

- ・地域からお世話になり長年営業を続けているという考えから、ガイドラインの有無にかかわらず、従来から地域に貢献するという方針の下、高い地域の信頼のなかで、地域に根ざした営業、取組みを行っている。
- ・毎年公募によるモニター制度があり、20名程度のモニターから月1回の会議で出される施設面やサービス面などの意見を参考に改善を行っている。
- ・任意団体のまちづくり組織「すきたい熊本協議会(注1)」に参加し、また、まちづくり会社「(株)まちづくり熊本(注2)」にも出資することで、中心市街地活性化に協力している。
- ・(社)熊本善意銀行(注3)会員となり、会費の支払いやチャリティーオークションなどの収益の預託により、同銀行の事業・運営に協力している。
- ・廃棄物(ゴミ)を10種類に分類し、計量したうえで処理に出すシステムを取っており、適正な分別と減量に資する管理を行っている。

(注1)「すきたい熊本協議会」

- ・設立 平成18年8月28日
- ・会員数 14団体・企業
- ・事業内容 熊本市中心市街地商店街及びその周辺地区でのまちづくりの将来ビジョンの研究、イベントなどの活動

(注2)「(株)まちづくり熊本」

- ・設立 平成18年12月26日
- ・主な株主 (株)県民百貨店、(株)鶴屋百貨店、(株)肥後銀行、熊本市、熊本県、熊本商工会議所ほか
- ・事業内容 改正中心市街地活性化法に基づき設立された、官民共同のまちづくり機関

くまもと阪神（熊本市）

- ・岩田屋撤退後、地域の多大な支援により開店したという経緯から、地域貢献を経営方針の第一に掲げ、雇用の継続を柱として推進している。また、交通センターに隣接していることからバスを利用する高齢者の顧客が多く、「疲れない百貨店」をテーマとして、エスカレーターの速度を落としたり、店のイベント・食料品などにも高齢者に対応した配慮をしている。
- ・モニター制度はないが、販売員が直接聞いた顧客からの意見等を文書化し、会社として対応が必要な事項については月1回開催しているサービス推進委員会のなかで検討し改善を行っている。
- ・任意団体のまちづくり組織「すきたい熊本協議会（注1）」に参加し、また、まちづくり会社「(株)まちづくり熊本（注2）」にも出資することで、中心市街地活性化に協力している。
- ・(社)熊本善意銀行（注3）会員となり、会費の支払いやチャリティーオークションなどの収益の預託により、同銀行の事業・運営に協力している。
- ・平成17年～19年にかけて、省エネタイプの蛍光灯に本体ごと交換するなど節電対策に取り組み、年間電気使用量を約2%削減し、平成21年2月に九州経済産業局長から表彰を受けた。

（注3）「(社)熊本善意銀行」

- ・会員数 約110社
- ・事務所 熊本日日新聞社内
- ・事業内容 会員の会費収入や善意の預託により運営され、社会福祉施などの充実のために活用

【ショッピングセンター】(4 店舗)

イオンモール熊本クレア (嘉島町)

- ・イオンは地域社会への貢献を基本理念に掲げており、企業の方針としてグループ全体が地域貢献に取り組んでいる。
- ・公募によるモニター制度があり、未就学児童を抱える母親を中心とした 20 名程度のモニターから月 1 回の会議で出される意見を参考に店舗の改善を行っている。
- ・テナントも含めてた全社が商工会に加入している。
- ・県からのパークアンドライドへの協力要請に対し、50 台分の専用駐車場を提供している。
- ・毎月 11 日に「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施し、レシート金額合計 1 %分を、顧客が指定する NPO 団体に寄付している。

ゆめタウン光の森 (菊陽町)

- ・地域住民や学校、各種団体等で組織する県内で初の地域貢献協議会 (注 4) を自発的に設置し、その意見等を地域貢献や店舗の改善に反映させている。
この取組みは、第 3 回日本 S C 大賞 2008 地域貢献賞を受賞している。
- ・テナントも含めた全社が商工会に加入している。
- ・県からのパークアンドライドへの協力要請に対し、72 台分の専用駐車場を提供している。
- ・J A 菊池及び J A 熊本の地産地消の野菜コーナーを常設し、売上高も増加している。
- ・短期間ではあるが、菊陽町及び周辺地域の地産地消コーナーもセントラルコートに設置している。

サンリブシティくまなん（熊本市）

- ・「平成ニュータウン商業地域まちづくり協議会（注5）」に参加し、積極的に地域とのつながりを持ち、地域の意見等を地域貢献・店舗の改善に反映させている。
- ・福祉施設や地域イベント等への1階ホールの無料貸出や、生徒・学生の職場体験を受け入れている。
- ・パート従業員については長期休暇制度もあり、試験などにより準・正社員への道も用意されている。
- ・障がい者の雇用は、精肉部門（包装等）でパート2名を雇用している。本社としては、傘下各店舗で少しずつ雇用を増やしていく考えである。
- ・閉店時間を平成17年度に22時から21時に繰り上げ、今年からさらに20時に繰り上げ、環境対策の一環として営業時間の短縮を実施している。

ハイパーモールメルクス山鹿（山鹿市）

- ・「顧客の利便性」が地域貢献の第一との考えで地域貢献に取り組んでいる。
- ・顧客からの意見等については、ミスターマックスが窓口となり、本部や月1回開催されるテナント会議で協議を行っている。
- ・ミスターマックスでは、女子が働きやすい職場づくりのために、プロジェクトチームを立ち上げ、「次世代育成対策推進法」の基準適合一般事業主として認定を受けた。
また、子育て支援の認定マーク「くるみん」を取得し、全店舗で行動計画（注6）を実施し、男性職員も育児に積極的に参加できるよう推進している。
- ・ミスターマックスでは、平成19年6月から平成20年9月まで、チーム・マイナス6%の活動として、「チャレンジ宣言」をした客（従業員も含む）に対し、店舗指定の電球型蛍光灯・省エネテープルタップの6%引き販売を実施している。
- ・山鹿灯籠祭りなどイベントについては、駐車場の開放など協力を行っている。
また、山鹿市からの要請で、市の地域バスの停留所として協力をしており、ポスター・チラシ掲示など行政の広報への協力もしている。

(注4)「光の森地域貢献協議会」

- ・設置 平成18年10月18日
- ・構成員 菊陽町、合志市、菊陽町・合志市商工会、菊陽・武蔵ヶ丘
・合志中学校、菊陽町内・合志市内の周辺自治会等
- ・店舗側 ゆめタウン光の森店、テナント会代表ほか
- ・開催頻度 年2回
- ・主な議題 地域雇用確保、防犯・青少年非行防止対策、防災・交通安全対策、環境対策などの地域活動及び県産品の販売促進等

(注5)「平成ニュータウン商業地域まちづくり協議会」

- ・設置 平成19年
- ・構成員 約200団体等
- ・主な活動 地域の清掃活動(年6回)、平成中央公園桜まつりなどの地域イベントへの協力等

(注6)「次世代育成対策推進法に基づく行動計画」

- ・育児休業、育児休業給付金、産前産後休業、配偶者出産休暇など次世代育成支援に係る諸制度の周知・利用しやすい環境づくり。
- ・短時間勤務制度の拡充(対象を小学生未満の子を持つ従業員へ拡大)
- ・育児休業後の復帰部署について、本人の希望を考慮する規定の新設

【ホームセンター】(2店舗)

DIYホームセンターハンズマン菊陽店(菊陽町)

- ・県内2番目の地域貢献協議会(注7)を設置し、地域住民や学校、各種団体等の意見を地域貢献や店舗の改善に反映させ、地域のイベントにも積極的に協力している。
- ・地域貢献協議会を菊陽町商工会で開催するなど、町商工会とも連携しながら取り組んでいる。
- ・災害時の店舗駐車場提供や物資供給等を菊陽町と協議中である。
- ・学生の職場体験実習の受け入れも積極的に行っている。
- ・店舗入口近くに多目的トイレを設置し、店舗内には車椅子を2台用意している。また、エレベーターは車椅子や荷物を多数抱えた顧客用として広いものを設置している。

ホームセンターサンコー本店(熊本市)

- ・ホームセンターサンコーは、地場企業として地域貢献に積極的に取り組んでおり、本店では敷地内のイエローハット、ゼビオとも協力して地域貢献に取り組んでいる。
- ・本社のシステムとして「社長室直行便」があり、顧客などから寄せられた意見等に各店舗で対応し、対応や回答は100%実施している。
- ・サンコー全体で「ナイスライ・インターンシップ」として新人教員研修や幼児・小学生等の職場見学を積極的に受け入れている。
- ・ホームセンターとしての店(従業員)の知識を活かし、自転車整備・DIY・危険物取扱いのアドバイスや、網戸張り替え実践、園芸指導等の無料講習会などを行っている。
- ・パート従業員の採用権限を店長・副店長に与えられており、長期雇用を可能とするとともに、正社員への道も用意されている。

(注7)「ハンズマン菊陽店地域貢献協議会」

- ・設置 平成20年3月29日
- ・構成員 菊陽町、合志市、菊陽町・合志市商工会、菊陽中学校、菊陽町内の周辺自治会・まちづくり団体等
- ・店舗側 ハンズマン菊陽店
- ・主な議題 地域雇用確保、防犯・青少年非行防止対策、防災・交通安全対策、環境対策などの地域活動及び県産品の販売促進等

(4) 業態ごとの評価

百貨店

2店舗は、地域に根をおろした営業を続けるなかで、地域づくりや福祉活動などに幅広く参加・協力している。

特に、熊本市の中心市街地活性化については、両店舗が中心市街地の核施設でもあることから、活性化に取り組む活動団体に積極的に参画するなど、中心市街地活性化に大きな貢献をしている。

ショッピングセンター

ショッピングセンターの多くは本社が中心となって広域的な多店舗展開を推進しており、個々の店舗においても商圈が広い。このように広域的に店舗展開しているショッピングセンターにおいては、地域貢献を営業戦略の柱として位置づけ、地域貢献を事業活動の基本理念や基本方針に掲げている。

このため、4店舗はいずれも広域的に展開している県外資本の店舗であるが、本県独自のガイドラインに基づく地域貢献についての理解も深く、むしろ積極的に活用して取組みを進めている。

ホームセンター

ホームセンターは商圈が比較的狭く、地域の顧客等との結びつきが強い
ため、地域イベント等への協力や災害時の駐車場開放、店舗が持つノウハウを活かした取組みなどが実施されている。

(5) 総合評価

今回評価対象とした8店舗はいずれも、地域貢献は、企業の社会的責任との認識を持っている。そのうえで、個々の事業活動の理念や方針に基づき、それぞれの置かれた状況のなかで、積極的に地域貢献に取り組んでいる。

また、店舗運営や地域貢献に反映させるため、顧客や地域の意見等を積極的に受け入れるための方策を整えている。いまや地域貢献は、企業の社会的責任として強く意識されている。

このようなことから、前回の報告書でも示したように、特定大型店21店舗における地域貢献の取組みは、全般的には進んでいるものと判断できる。

しかしながら、今回実施した意見交換（ヒアリング）のなかで、企業の方針として商工会等から脱退した事例や、地域との接点である地域貢献協議会などの活動がうまく機能しておらず関係者間の認識の統一が必要と見受けられる事例もあった。

また、「地域からの提案や要望にはできる限り協力したいが、市町村や商工団体等が求めている具体的な地域貢献策がわからない。」という意見もあり、店舗側が地域からのアクションを待っている状況も見られ、地域とのコミュニケーションのあり方に課題が残されている。

この課題を克服していくためには、大型店が自ら地域貢献に対する考え方や実績を情報発信し、さらなる地域の理解を求めていくことが重要である。このような情報発信活動のなかで、地域から真に求められる新たな地域貢献策や地域貢献協議会などのあり方なども見えてくると考える。

さらに、大型店からだけでなく、地域(市町村や商工団体等)からももっと積極的に大型店との連携・協力体制の構築に向けた働きかけを行うことで、地域主導のコミュニケーションを醸成し、さらなる大型店の地域貢献を進めていきたい。

《付託案件 2》 大型店の立地に関するガイドラインの運用について

ガイドラインの趣旨は特定大型店に十分理解され、地域貢献が実施されているところであるが、より多くの大型店による地域貢献をさらに促進するため本年4月に改正・施行されたところである。

この改正により基準面積が1万㎡以上から5千㎡以上に引き下げられたことにより、地域貢献計画の策定・実施を求める特定大型店が増えることになったが、新たに対象となる大型店に対してもガイドラインの趣旨の周知・徹底を図っていただきたい。

なお、地域貢献については、企業の多くが社会的責務との認識を持っているため、地域貢献計画や実施状況が県を通して公表されることは、企業PRとしてメリットも少なくないと思われるため、この点も含め今後のガイドラインの趣旨の周知・徹底をお願いします。

また、県からの公表だけではなく、大型店自らが地域貢献に対する考え方や実績を公表し地域の理解を求めていくことは、地域とのコミュニケーションの醸成にとっても必要であることから、大型店の積極的な情報発信についての指導もお願いします。

改正では、地域コミュニティの実現や大型店と地域の連携を強化するために市町村・商工団体に求めることも新たに規定されている。

県においては、地域ニーズに沿った地域貢献をさらに進めていくうえで、重要となる大型店と地域とのコミュニケーションを地域主導で成立させ確かなものとするため、さらなる大型店への指導や地域（市町村・商工団体等）への支援をお願いします。

具体的には、大型店に対し地域づくりへの協力や商工会等への加入などガイドラインの地域貢献策14項目への積極的な取り組みの指導を行っていただきたい。また、市町村・商工団体への改正内容の周知と、市町村ごとの地域貢献協議会の設置など要請や運営への協力、さらには、既存の地域貢献協議会などの活動活性化への支援も必要である。併せて、大型店の地域貢献に対する地域の理解を深めるために、市町村・商工団体との連携のもと、ガイドラインの趣旨について県民へのさらなる周知を要望する。

最後に、今回の評価を行うために実施した特定大型店との意見交換（ヒアリング）は、それぞれの店舗の現状や地域貢献に関する考え方・課題などを把握する方法として非常に有効であるため、今後も県において特定大型店の意見を直接聞く機会をできるだけ設け、その結果を活かして特定大型店の地域貢献をさらに推進していただきたい。

[参考] 特定大型店一覧表(68店舗)

平成21年4月1日現在

(50音順)

ガイドライン改正前の特定大型店(21店舗)～店舗(売場)面積1万㎡以上

	店舗名称	所在市町村		店舗名称	所在市町村
1	あらおシティモール	荒尾市	12	ダイエー熊本下通店	熊本市
2	イオンモール宇城バリュー	宇城市	13	鶴屋百貨店	熊本市
3	イオンモール熊本クリア	嘉島町	14	D I Yホームセンターハンズマン菊陽店	菊陽町
4	イオン八代ショッピングセンター	八代市	15	ハイパーモールメルクス山鹿	山鹿市
5	くまもと阪神	熊本市	16	ホームセンターサンコー本山店	熊本市
6	S A K O D Aホームファニッシング熊本店	宇土市	17	ゆめタウンサンビアン店	熊本市
7	サンリブシティくまなん	熊本市	18	ゆめタウンはません店	熊本市
8	サンロードシティ	錦町	19	ゆめタウン光の森	菊陽町
9	ショッピングプラザ宇土	宇土市	20	ゆめタウン八代	八代市
10	ショッピングプラザ菊陽	菊陽町	21	本渡ショッピングセンター	天草市
11	ダイエー熊本店	熊本市			

ガイドライン改正後に特定大型店となった店舗(47店舗)～店舗(売場)面積5千㎡以上

	店舗名称	所在市町村		店舗名称	所在市町村
1	阿蘇ファームランド	南阿蘇村	25	ダイヤヒルズ	熊本市
2	H I ヒロセスーパーコンボ大津店	大津町	26	デオデオくまなん店	熊本市
3	H I ヒロセ田崎店	熊本市	27	ニトリ熊本近見店	熊本市
4	エムズシティ	水俣市	28	ハイパーモールメルクス松橋	宇城市
5	大津ショッピングプラザ	大津町	29	パワーモールサザンスター	熊本市
6	嘉島ショッピングセンター	嘉島町	30	ハンズマン画図店	熊本市
7	カリーノ下通	熊本市	31	B I G T H E B I G エース城山店	熊本市
8	菊池S Tエルシティキャニオン	菊池市	32	ホームセンターサンコー東バイパス店	熊本市
9	菊南ショッピングセンター	合志市	33	ホームセンターサンコー東町店	熊本市
10	グッディ植木店	植木町	34	ホームセンターナフコ玉名店	玉名市
11	熊本インターコミュニティショッピングセンター	熊本市	35	ホームセンターニシムタ熊本人吉店	人吉市
12	熊本パルコ(新世界会館)	熊本市	36	ホームプラザナフコ江津店	熊本市
13	グリーンスマイル一番館	荒尾市	37	ホームプラザナフコ城南店	城南町
14	コジマNEW熊本店	熊本市	38	ホームプラザナフコ富合店	熊本市
15	サンリブ清水店	熊本市	39	ホームプラザナフコ東八代店	八代市
16	サンリブ本渡	天草市	40	ミスターマックス熊本インターショッピングセンター	熊本市
17	サンロードシティ熊本	熊本市	41	ヤマダ電機テックランド熊本春日店	熊本市
18	ジャスコ玉名店	玉名市	42	ゆめマート東山鹿店	山鹿市
19	シュロアモール長嶺	熊本市	43	ゆめマート人吉店	人吉市
20	城南ショッピングセンターパームス	城南町	44	ゆめマート松島店	上天草市
21	ショッピングタウン阿蘇	阿蘇市	45	ゆめマート横手店	八代市
22	ショッピングモールさくらの森	熊本市	46	リンドマールT A I Y O	天草市
23	水光社本店	水俣市	47	ロックタウン荒尾	荒尾市
24	スーパーセンタートリアル八代店	八代市			